



平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 飯田産業

コード番号 8880 URL <http://www.iidasangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 兼井 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画部長

(氏名) 千葉 雄二郎

TEL 0422-36-8848

四半期報告書提出予定日 平成23年12月13日

配当支払開始予定日

平成24年1月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第2四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成23年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	65,944	9.6	6,705	△8.3	6,388	△9.1	3,622	△13.4
23年4月期第2四半期	60,178	14.1	7,315	50.8	7,028	52.7	4,184	55.7

(注) 包括利益 24年4月期第2四半期 3,531百万円 (26.3%) 23年4月期第2四半期 2,797百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第2四半期	60.90	—
23年4月期第2四半期	70.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	115,448		49,000			42.1
23年4月期	107,048		46,242			42.9

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 48,639百万円 23年4月期 45,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	13.00	—	13.00	26.00
24年4月期	—	13.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	18.0	14,230	1.4	14,000	4.8	8,300	0.0	139.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年4月期2Q	60,000,000 株	23年4月期	60,000,000 株
② 期末自己株式数	24年4月期2Q	520,409 株	23年4月期	520,367 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年4月期2Q	59,479,626 株	23年4月期2Q	59,479,655 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

その他業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、ヨーロッパ・アメリカにおける政府債務問題や経済に対する先行きの不透明感の影響によって、国際金融市場に不安が広がる中で、アジア経済においても、各国の金融引き締めや欧米向け輸出の減速などによって、景気の減速傾向が進み、米ドル不安に加えて、ユーロ不安も加わって円高基調が一層進むなどの厳しい対外環境の中であったものの、東日本大震災の影響による落ち込みからの反動もあり、自動車の販売増、外食などサービス消費の増加などによる個人消費の持ち直し、設備投資の増加などや、サプライチェーンの復旧に伴う輸出の増加などによって、内需、外需ともに堅調に推移し、実質GDP成長率は平成22年10～12月期以降、3四半期連続してマイナス成長でしたが、7月～9月期においては、プラス成長となりました（平成23年12月9日内閣府発表「2011（平成23）年7～9月期四半期別GDP速報（2次速報値）」）。

日本経済は、依然として緩やかなデフレ状況にあります。サプライチェーンも復旧し、個人消費・設備投資は回復の兆しが見えてきており、復興需要の顕在化などによって景気回復を維持すると思われまますが、国際的にはアメリカやヨーロッパの政府債務問題・金融不安、世界的な経済の減速懸念が深刻化してきており、日本国債の格下げや、株安・円高の進行などにより減速懸念がなお強く、先行きが不透明な状況が続いています。

このような国内外の経済環境の下、当社が位置する戸建分譲住宅業界においては、住宅ローン減税、贈与税非課税枠拡充などの政府による住宅に関連する景気刺激策などの後押しによって、新設住宅着工戸数（分譲一戸建）は、平成22年1月以降、平成23年5月は前年実績を下回ったものの、8月まで前年実績を上回り、新設住宅の牽引役として、実績を挙げてきました。しかし、住宅版エコポイント制度、フラット35S金利の1%引下げが、それぞれ、7月末、9月末で終了したこともあり、9月、10月は、新設住宅着工戸数（分譲一戸建）が前年実績を下回りました。

このような環境下、当社は、引き続き用地仕入の厳選、建設単価の抑制、低価格帯の供給および早期販売の徹底などを行うとともに、販売費及び一般管理費の節減にも努めてきました。

この結果、戸建分譲住宅については、当第2四半期連結累計期間における決済棟数は、1,961棟となり、売上高は60,912百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

マンション分譲においては、当第2四半期連結累計期間における売上戸数は、57戸となり、売上高は1,938百万円（前年同期比39.0%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、65,944百万円、営業利益は6,705百万円、経常利益は6,388百万円、当期純利益は3,622百万円となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間との比較では、売上高は9.6%増収となり、営業利益は8.3%、経常利益は9.1%、当期純利益においては13.4%と各々減益となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて8,399百万円増加し、115,448百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,079百万円、営業貸付金及び営業未収金が6,179百万円増加したものの、たな卸資産が884百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて5,641百万円増加し、66,448百万円となりました。これは主に短期借入金が5,074百万円、長期借入金が1,515百万円増加したものの、支払手形及び営業未払金が379百万円、社債が150百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて2,758百万円増加し、49,000百万円となりました。これは主に利益剰余金が2,848百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結会計期間の業績は予想通り推移しており、平成23年6月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、当社の四半期毎の業績の推移は、過去の実績によれば、上半期と下半期を比較すると、上半期においては、契約数・売上高が少なくなり、下半期においては契約数・売上高が上半期に比べて大きくなる季節変動傾向があります。上半期の契約数・売上高の通期の過去の実績に占める割合は、約40%台となっております。また、四半期毎に比較すると、第4四半期においては契約数・売上高が他の四半期に比べて大きくなる季節変動傾向があります。なお、第4四半期の契約数・売上高の通期の過去の実績に占める割合は約30%台となっておりますが、予期しない経済環境の変化などの様々な外部要因により変動する可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,545,439	31,625,279
売掛金	7,733	10,523
営業貸付金及び営業未収金	9,622,488	15,802,460
たな卸資産	45,541,683	44,657,493
その他	1,600,401	1,538,923
貸倒引当金	△11,389	△9,613
流動資産合計	85,306,357	93,625,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,346,047	7,370,372
機械装置及び運搬具(純額)	89,425	76,123
土地	8,595,563	8,872,247
建設仮勘定	122,559	100,021
その他(純額)	1,029,684	1,023,827
有形固定資産合計	17,183,280	17,442,592
無形固定資産	170,692	164,446
投資その他の資産		
投資有価証券	3,870,686	3,583,506
その他	623,479	738,490
貸倒引当金	△106,179	△105,796
投資その他の資産合計	4,387,985	4,216,200
固定資産合計	21,741,958	21,823,239
資産合計	107,048,315	115,448,305
負債の部		
流動負債		
支払手形、買掛金及び営業未払金	11,773,058	11,393,987
短期借入金	36,980,491	42,054,675
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
未払法人税等	2,675,049	2,646,720
役員賞与引当金	—	64,000
その他	2,324,733	1,963,386
流動負債合計	54,053,332	58,422,769
固定負債		
社債	1,050,000	900,000
長期借入金	3,728,062	5,243,306
退職給付引当金	404,228	425,692
保証工事引当金	53,000	49,942
訴訟損失引当金	46,000	—
その他	1,471,596	1,406,375
固定負債合計	6,752,886	8,025,316
負債合計	60,806,218	66,448,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,130,500	2,000,000
資本剰余金	872,668	3,168
利益剰余金	42,297,934	45,146,912
自己株式	△296,501	△296,529
株主資本合計	44,004,602	46,853,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,930,129	1,786,000
その他の包括利益累計額合計	1,930,129	1,786,000
少数株主持分	307,364	360,666
純資産合計	46,242,096	49,000,219
負債純資産合計	107,048,315	115,448,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
売上高	60,178,930	65,944,706
売上原価	48,073,366	53,750,428
売上総利益	12,105,563	12,194,277
販売費及び一般管理費	4,789,810	5,488,355
営業利益	7,315,752	6,705,922
営業外収益		
受取利息	1,263	1,389
受取配当金	67,835	83,357
その他	38,320	38,815
営業外収益合計	107,419	123,561
営業外費用		
支払利息	325,041	336,540
その他	69,543	104,487
営業外費用合計	394,584	441,027
経常利益	7,028,587	6,388,456
特別利益		
投資有価証券売却益	—	36,637
特別利益合計	—	36,637
特別損失		
投資有価証券評価損	—	19,158
会員権評価損	—	11,971
特別損失合計	—	31,129
税金等調整前四半期純利益	7,028,587	6,393,964
法人税、住民税及び事業税	2,659,167	2,595,018
法人税等調整額	141,129	123,429
法人税等合計	2,800,296	2,718,448
少数株主損益調整前四半期純利益	4,228,290	3,675,515
少数株主利益	44,131	53,302
四半期純利益	4,184,159	3,622,213

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,228,290	3,675,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,431,176	△144,129
その他の包括利益合計	△1,431,176	△144,129
四半期包括利益	2,797,113	3,531,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,752,982	3,478,083
少数株主に係る四半期包括利益	44,131	53,302

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	戸建分譲住宅事業					
売上高						
外部顧客への売上高	56,649,689		3,529,240	60,178,930	—	60,178,930
計	56,649,689		3,529,240	60,178,930	—	60,178,930
セグメント利益	6,988,182		327,569	7,315,752	—	7,315,752

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、分譲マンション事業、不動産賃貸事業、江の島事業、金融事業等の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益を記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	戸建分譲住宅事業	金融事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	61,922,239	777,148	62,699,388	3,245,318	65,944,706	—	65,944,706
計	61,922,239	777,148	62,699,388	3,245,318	65,944,706	—	65,944,706
セグメント利益	6,101,475	353,224	6,454,699	251,222	6,705,922	—	6,705,922

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、分譲マンション事業、不動産賃貸事業、江の島事業等の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益を記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、前連結会計年度において「その他」に含まれていた「金融事業」について資産合計の金額が、すべての事業セグメントの資産の合計額の10%以上となった事により、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

この変更を前第2四半期連結累計期間に反映した場合、報告セグメント計の外部顧客への売上高が457,415千円、セグメント利益が241,072千円それぞれ増加、「その他」の外部顧客への売上高が457,415千円、セグメント利益が241,072千円それぞれ減少いたします。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年7月22日付で会社法第448条第1項に基づき、資本準備金の資本金への組み入れを行いました。これにより、第1四半期連結会計期間において資本準備金の額が869,500千円減少し、資本金の額が869,500千円増加いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金の額が2,000,000千円、資本準備金の額が3,168千円となっております。

4. 補足情報

販売の状況

戸建分譲住宅

区 分	売上棟数	売上高(千円)
首都圏	1,543	50,514,551
その他	418	10,397,711
合 計	1,961	60,912,262

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。